

記録映画

戦後在日五〇年史

在日

上映会&トーク

1905

1910

1945

から
30
年

～在日女性・クィアが語る、
あれから変わったこと・変わ
らなかったこと・そしてこれ
から変えたいこと～

11月8日(土)

17:30～21:00 [17:15 開場]

早稲田奉仕園
スコットホール

参加費 | 一般 1000 円 / 学生 500 円

申込み | 早稲田奉仕園 HP よりフォーム送信

問合せ | 早稲田奉仕園プログラム担当

03(3205)5403 【火～金曜日 13:00-18:00】
program@hoshien.or.jp

☆車いす OK。スロープ用意のためフォームにてお知らせください。
☆情報保障が必要な方は、HP をご確認ください。

トークゲスト
朴金 優綺 さん
ばくきむ うぎ



在日本朝鮮人人権協会事務局員、
朝鮮大学校講師、歌手。朝鮮学校
差別問題をはじめとする在日朝鮮
人の人権問題や日本軍性奴隷制問
題を国連の人権条約機関に働きか
け、差別是正勧告を引き出してき
た。同協会性差別撤廃部会の事務
局として「日本軍性奴隷制の否定を
許さない 4.23 アクション」、在日
朝鮮人女性の交流会、在日朝鮮人
性的マイノリティの交流会などを
開催。各地の朝鮮学校で人権教育
／包括的性教育も実施している。



詳細・
申込みは
こちらから

早稲田奉仕園

検索

アクセス：
東京メトロ東西線「早稲田」駅 徒歩 7分
副都心線「西早稲田」駅 徒歩 10分
JR「高田馬場」駅 徒歩 20分

「在日」を生きるとは、「日本」を生きること——。

今年 は 1945 年から 80 年の節目。

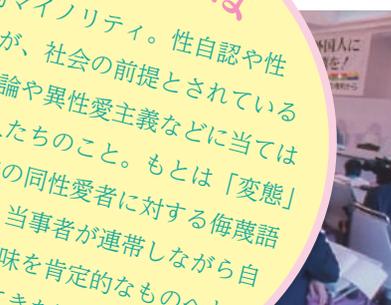
スコットホールで^{おどくす}呉徳洙監督の〈戦後在日五〇年史 在日〉を上映します。

『敗戦時、日本には 200 数十万もの朝鮮人がいた。日本の敗戦は朝鮮の「解放」であった。朝鮮人は祖国を目指した。内的・外的事情で帰りそびれた人々はこの地で生きつづけた。いつしか、この人たちは「在日」と呼ばれるようになった。』（監督のこぼれ）

1997 年に公開されたこの映画は、解放から 50 年に及ぶ「在日」の歴史を映像化したもの。在日をめぐるさまざまな出来事を、膨大な映像資料、証言をもとに年代順に追っていきます。前半「歴史編」と後半「人物編」合わせて 4 時間半となる大作ですが、今回の上映会では「歴史編」（2 時間 15 分）のみを上映します。

「五〇年史」から早 30 年。それから在日コリアンの状況はどう変わったでしょうか、あるいは変わらなかったこととはなんでしょうか。

今回は、トークゲストに在日本朝鮮人人権協会より^{ぼくきむ うぎ}朴金優綺さんをお招きし、「歴史編」に描かれていない在日女性やクィアの視点から「日本を生きること」について、そしてこれからの百年史に向けて私たちが何を変えていけるか語っていきます。



クィアとは

性的マイノリティ。性自認や性的指向が、社会の前提とされている性別二元論や異性愛主義などに当てはまらない人たちのこと。もとは「変態」という意味の同性愛者に対する侮蔑語だったが、当事者が連帯しながら自らその意味を肯定的なものへと変えてきた歴史がある。

予告● 2026 年 3 月開催予定 山口スタディツアー



映画の冒頭シーンにも出てくる下関の^{かんもんかいきょう}「関門海峡」。

まだ旅客機が自由に行き来していなかった時代、山口は日本と朝鮮半島をつなぐ数少ない玄関口でした。多くの朝鮮人はこの下関を經由して、勉強や仕事をしに、または日本各地の危険な労働現場へと強制的に送られました。逆に、日本人が朝鮮や満州に入植する際にもこの下関から出発しています。

このスタディツアーは、山口県内の 3 つの沿岸部（下関・宇部・仙崎）を訪れ、数多くの在日朝鮮人が渡り犠牲となった「海」の物語に想いを馳せるツアーです。

詳細は近日公開予定 早稲田奉仕園の HP をチェック！